

---

**第5世代モバイル推進フォーラム（5GMF）  
Beyond 5G推進コンソーシアム（B5GPC）**

**新フォーラムの設立及び準備室の設置について**

**2024年3月8日**

**5GMF事務局/B5GPC事務局**

## 新フォーラム設立の検討スコープ

### [5GMF/B5GPC 総会審議事項]

1. 新フォーラムの設立
2. 準備室の設置

### [新フォーラムの概要]

変革への取組と活動方針

新フォーラムの主な活動方針

体制拡充のためのフェーズアプローチ

新フォーラムの体制

新フォーラムの活動単位(WG)

新フォーラムの会員制度

会員の移行方法

## 新フォーラム設立の検討スコープ

5GMF/B5GPC終了後、2024年4月から5G/6G活動を一体化した「新フォーラム」の設立について、5GMFとB5GPCの両事務局が関係者の意見を伺うとともに、共同で検討を行ない、概要案をとりまとめました。

共同検討では、会員からの意見やアンケート結果をもとに、以下のことをポイントにまとめました。

- 新フォーラムの主な活動方針をもとに、組織・推進体制の概要、会員の対応を集約
- 4月からは、5GMF/B5GPCの継続が必要な活動を中心にスタートし、段階的に体制を拡充
- 設立総会までの組織として、切れ目ない対外対応や会員移行等のために準備室を設置

2024年3月の総会において、「両団体を統合する新たなフォーラムの設立及び準備室の設置」を議決頂くことにより、準備室は組織・体制・運営方法等の詳細な検討を行い、設立総会に規約（案）等を提案します。

**以降のスライドが新フォーラム設立の概要案になります。**

**なお、概要案のうち前半は本総会の審議事項として、また後半の新フォーラムの概要については、正式には新フォーラムの設立総会での審議事項になります。**

---

**新フォーラムの設立及び準備室の設置について**

**[5GMF/B5GPC 総会審議事項]**

# 1. 新フォーラムの設立

モバイル通信に対するニーズの変化への対応

A I 等の新たなニーズに対応した世界最先端のモバイルネットワークの実現に向け、  
①人材の集中化による推進力強化、 ②国際窓口の一本化も含めた強化 が急務

**第5世代モバイル推進フォーラム**

(2014年9月設立、2024年3月終了予定)

**Beyond 5G推進コンソーシアム**

(2020年12月設立、2024年3月終了予定)

- ・両団体を統合する新フォーラムの名称を定め、2024年4月1日に設立
- ・会費制による新たな民間団体へ移行

**XGモバイル推進フォーラム**

(2024年4月1日 (月) 誕生・活動開始)

英語名称：XG Mobile Promotion Forum/略称：XGMF  
(2024年5月～6月設立総会を予定)

## 2. 準備室の設置

準備期間から新フォーラムの設立総会において規約が議決されるまでの間、新フォーラムの準備室を設置する。準備室は設立総会まで、新フォーラム全体の取り纏めとして必要な対応を行う

団体/運営組織		3月	4月	5月	6月～
5GMF/B5GPC事務局		総会	活動終了		
新フォーラム	準備室	両団体の総会から新フォーラムの設立総会まで、暫定的に準備室を設置し、運営・管理など必要な役割を担う			設立総会 (組織・規約の議決)
	企画戦略・マーケティングWG 運営支援WG				

### [準備室の概要]

- 準備室のメンバーについては、当面両団体の事務局(総務省・ARIB)が参加し、適宜有識者及び関係者の方々の意見を聞きながら進めていく
- 準備室の主な役割
  - 1) 新フォーラムの体制及び運営方法等の検討、設立総会(規約、総会資料等)の準備
  - 2) 継続が必要なWGの会合開催支援、イベント開催支援
  - 3) 会員管理、ホームページ管理、会員窓口
  - 4) その他

---

## 新フォーラムの概要（イメージ）

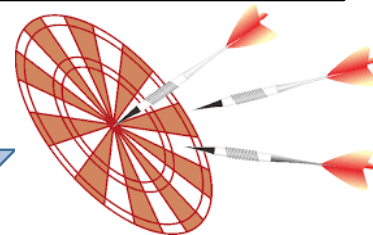
\*正式には新フォーラムの設立総会にて審議予定

# 変革への取組と活動方針（案）

グローバルな社会・経済環境が大きく変化したこと  
- 情報通信産業の成長力に停滞感あり -

5G普及に期待ギャップが生じたこと  
- 5G普及なくして6Gの実現なし -

フォーラムの原点は「会員」と「人」  
やる気のある会員がフォーラムを使い切ること、  
そのような会員・人材をいかに見つけ出し、  
いかに巻き込むかの議論を継続



2つの的（ゴール）と3本の矢（アプローチ）により大きな変革を起し、「共創領域の活動」に注力する  
**「XGモバイル推進フォーラム」の誕生に、ご期待ください**

## 2つの的（ゴール）

活動方針1

モバイル発展による情報通信産業の  
成長力強化

活動方針2

5G普及/6G実現に向けた  
活動拡大・体制の強化

## 3本の矢（アプローチ）

活動方針3

特定課題に対応する  
機動性強化

活動方針4

国内外推進団体との  
連携・情報発信の強化

活動方針5

組織・推進体制の  
フラット化・多様な人材活用



# 新フォーラムの主な活動方針（案）

## 2つのゴール

### 活動方針1

#### モバイル発展による情報通信産業の成長力強化

近年のAIやエッジコンピューティング等の大きなパラダイムシフトに的確に対応し、以下の取組によるモバイル分野の発展に貢献する

- 5G/6Gの社会実装を加速化する推進体制の構築
- 情報通信産業における事業開発力・国際競争力の強化

### 活動方針2

#### 5G普及/6G実現に向けた活動拡大・体制の強化

5G普及/6G実現に向けた活動の継続に加え、以下の取組により活動体制を強化する

- 企画・戦略/マーケティング機能の強化や産学官が参加可能なオールジャパンの体制の構築
- ユーザ企業や幅広い関連業界との更なる連携拡大、関連会合への積極的な参加、イベント開催

## 3つのアプローチ

### 活動方針3

#### 特定課題に対応する機動性強化

以下の取組強化により、特定課題への対応を強化する

- 特定課題に対応する分担金を会員有志が拠出できる仕組の導入
- これまで人的・時間的な制限から深堀や取組ができなかった戦略的な課題への取組（e.g. 生成AI, CPS, 光電融合, 量子技術等）

### 活動方針4

#### 国内外推進団体との連携・情報発信の強化

以下の取組を強化しグローバルイニシアティブに向けた活動を拡大する

- 国内外、特にアジアインド太平洋地域との交流拡大
- 新フォーラムのホームページでのメディア連携等による情報発信の強化

### 活動方針5

#### 組織・推進体制のフラット化・多様な人材活用

以下の人材や体制を考慮し、5GMF及びB5GPCの活動を一体化し、国際等の対外窓口の共通化・人材の集中化を図る

- 推進体制では30～40代・女性・海外等を含む多様な人材活躍の促進
- 組織のフラット化等により、企業等からの人材が参加し易い実務的な活動への取組

# 体制拡充のためのフェーズアプローチ（案）

## 1) 第1フェーズ（2024年度4月～最大2024年度3月末）

- ・活動方針の第2項～第5項については、継続が必要な活動を中心とした組織編成とし、2024年4月から活動を開始する
- ・活動方針の第1項は産業分野に関する調査検討等が必要であることから、第2フェーズからの開始に向けた準備組織（第2Ph準備チーム）を設置し、その検討結果を反映した組織・体制への移行を検討する

## 2) 第2フェーズ（2024年度中適宜～、または2025年度4月～）

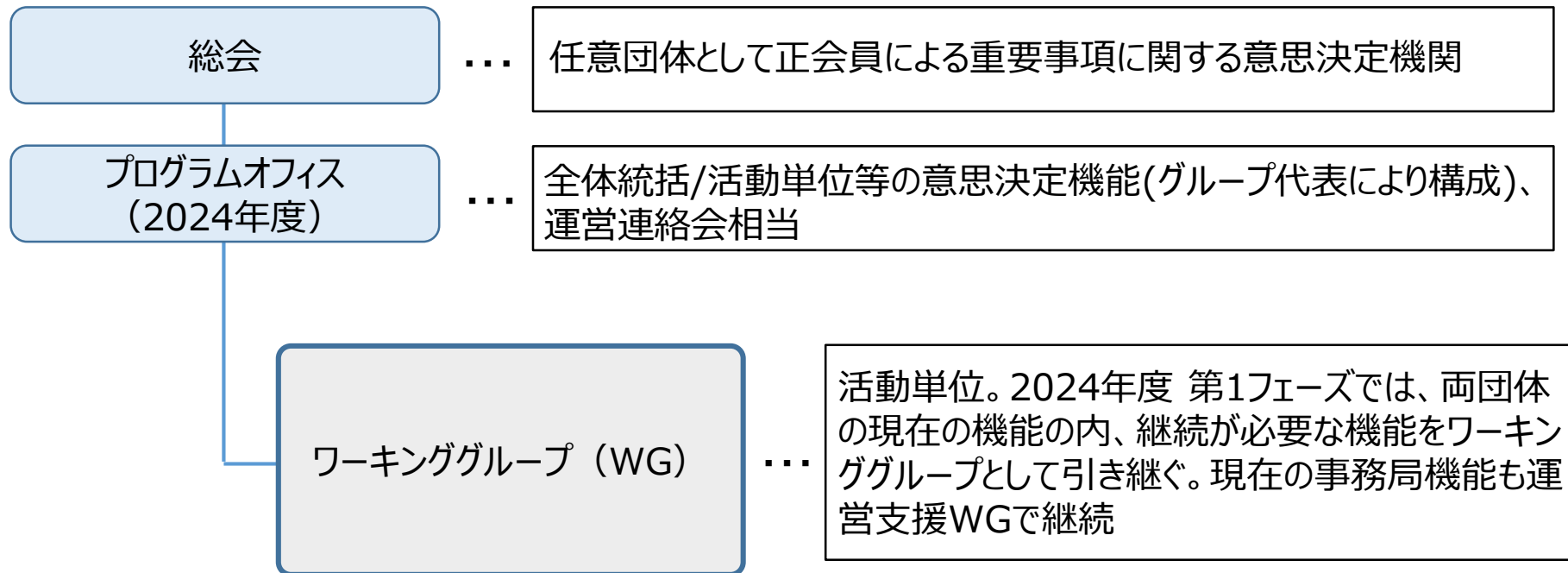
- ・活動方針の第1項については、第2フェーズから活動を開始する

## マイルストーン及び体制拡充のタイムライン



# 新フォーラムの体制（イメージ）

## XGモバイル推進フォーラム(XGMF)の体制



# 新フォーラムの活動単位(WG) (イメージ)

## 機能と活動単位 (WG:ワーキンググループ)

企画戦略・  
マーケティング機能

企画戦略・マーケティングWG  
・第2Ph準備チーム    ・特定課題対応チーム

国際連携機能

国際連携WG

技術戦略機能

6G推進WG

NTN推進WG

高周波WG

時空間同期WG

ミリ波普及WG

アプリケーション普及WG

ローカル5G普及WG    …

事務局機能

運営支援WG

# 新フォーラムの会員制度（案）

## 1) 会員

設立総会後に規約に基づく募集に応じ、会員登録を完了した者を正会員とし、年会費を徴集する

## 2) 会員制度

- ・正会員：総会、各ワーキンググループの会合に参加し、かつ議決に参加することができる
- ・特別会員：総会、各ワーキンググループの会合に参加できるが、議決に参加することはできない

\*総務省、国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT)、関係省庁及びその研究機関、地方自治体等、フォーラムが指定（依頼）した有識者、一般社団法人 電波産業会、一般社団法人 情報通信技術委員会 等

- ・準会員(当面の間)：イベント案内等の情報提供を受けられるが、総会、各ワーキンググループの会合及び議決に参加することはできない。ただし、2024年6月末までの間は、総会、各ワーキンググループの会合及び議決に参加することができる

## 3) 会費

- ・正会員：年間15万円
- ・特別会員・準会員：無料

## 4) 特定課題分担金

特定課題を対象に積極的に活動参加/推進する企業が拠出することができる費用

## 会員の移行方法（案）

全ての会員に対し、両団体の事務局から一旦準会員(会費無料)としての登録を案内する。  
新フォーラムの設立総会後に正会員(会費有料)として活動を希望する会員は、正会員への登録申し込みを行う

**2024年3月～2024年6月：両団体の会員 → 新フォーラムの準会員（会費無料）**

両団体の会員は、一旦新フォーラムの準会員（会費無料）として登録され、2024年6月  
末までの間、新フォーラムでもワーキンググループ等の活動に継続して参加することができる



**新フォーラム設立後～：新フォーラムの準会員（会費無料） → 正会員（会費有料）**

設立総会後、新フォーラムより改めて正会員(会費有料)の登録申し込みを受け付ける。なお正会員として登録を行わない準会員に対しては、当面の措置として、一定期間、イベント情報等の配信を継続する